

卯 令和3年度早川南小学校だより 卯

はるき



令和4年3月25日
No.43 (最終号)
校長 河西 弘明



ありがとう！…南小♪

一昨日、校庭の早咲き桜が満開を迎える中、卒業証書授与式を執り行うことができました。6名の卒業生が、思い出の詰まった学び舎を後にしました。証書授与のあと、贈る言葉と別れの言葉を交わし合い、マスク越しではありましたがきれいな二部合唱を6年生は披露し、門出に花を添えてくれました。卒業を祝うと同時に、在校生は6人からの思いを託された、凛とした式でした。



小学校の6年間という歳月は、子どもたちは身も心も大きな成長を遂げます。文字を習うことから始まり、様々な学習活動を通して、生きていくために必要な力の土台となる基礎・基本を学んで卒業します。小中連携という言葉がありますが、義務教育9年間の前半が小学校、後半が中学校であると考え、本当に重要な年月です。本校は、学校教育目標「かしこく つよく なかよく たくましく」の中に、「知・徳・体」をバランスよく取り込んでいます。その目標通りに成長した卒業生は、南小での思い出を胸に、きっと新しい世界で、更に精進していくことでしょう。6人の未来に前途あれと、期待して送り出しました。

卒業生を含め、2年間を一緒に過ごした早川南小の子どもたちは、心優しく清らかで、どんなことにも真面目に一生懸命に取り組める子たちです。活発な児童会活動、少人数と感じさせない大運動会、伝統のありコンなど、数々の行事に一生懸命に取り組む姿に、いつも感動をもらいました。晴れた日には、校庭狭しと駆け回り、雨の日には、ちっちゃな図書館で読書したり…、何をするにも、学年の枠を越えてみんなで活動しているからこそ、まるで兄弟姉妹のような人間関係が自然と生まれます。私にとって2度目の南小は、30数年前も今も、変わらぬ『早川の子たち』に出会えた素敵な時間となりました。

続くコロナ禍の中ではありましたが、保護者の皆様には、本校の教育活動に対して、たくさんのご理解とご協力をいただきました。本日、無事に修了の日を迎えられました。改めまして、保護者ならびに地域の

皆様に、感謝申し上げます。至らない点もあったかと思いますが、本校職員一同、精一杯愛情を注いでまいりました。4月からの新年度には、新たな出会いがあると思います。私も、この2年間の思い出を糧に、時々南小の子どもたちの笑顔を思い出しながら頑張っていきたいと思えます。来年度も引き続き、保護者の皆様の本校へのご支援とご協力をお願いいたしながら、2年間のお礼を伝えさせていただきます。本当にありがとうございました。

校長 河西 弘明



(裏面も見てください！)

♪東日本大会の賞状と盾、DVDが届きました！ みんなの心のこもった演奏を忘れません！ ありがとう♪

